



つながる つくる暮らし楽しむまち・とよた

第8次 豊田市 総合計画

基本構想・前期実践計画

概

要

版



「つながる つくる暮らし楽しむまち・とよた」 の実現をめざして



本市は、世界をリードするものづくり産業の中核都市としての顔を持つ一方、市域のおよそ7割を森林が占め、四季折々に彩られる豊かな自然や農産物を実らせる田園が広がる恵み多き緑のまちとしての顔も併せ持っています。また、スポーツ、歴史、文化、芸術を始め、多様性、可能性を秘めた様々な地域資源を有しています。

本計画では、「つながる つくる暮らし楽しむまち・とよた」を将来都市像として掲げています。超高齢社会の進展や技術革新、社会経済の一層のグローバル化といった大きな時代の変化の中において、本市の多様な資源を生かすことで、市民の皆様がまちづくりに関わり、暮らしの楽しみや満足感にあふれるまちの実現をめざしてまいります。

今後、急激に変動する社会経済情勢や地方税財政制度の変更など、本市を取り巻く情勢は厳しくなることが予想されますが、これまで市民の皆様と培ってきました共働を基に、市民力、地域力、企業力、行政力をより一層生かした市政経営により、活力と魅力のある持続可能なまちづくりを進めてまいります。

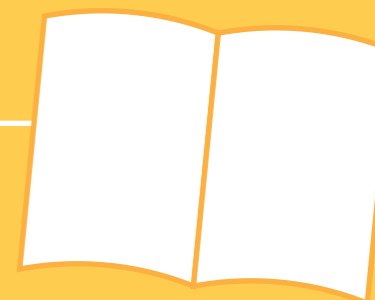
最後に、計画の策定に当たり、多くの貴重なご意見をいただいた皆様に心から感謝申し上げますとともに、引き続き市政に対するご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2017年3月

豊田市長 太田 稔 秀

「第8次豊田市総合計画 概要版」の

読み方

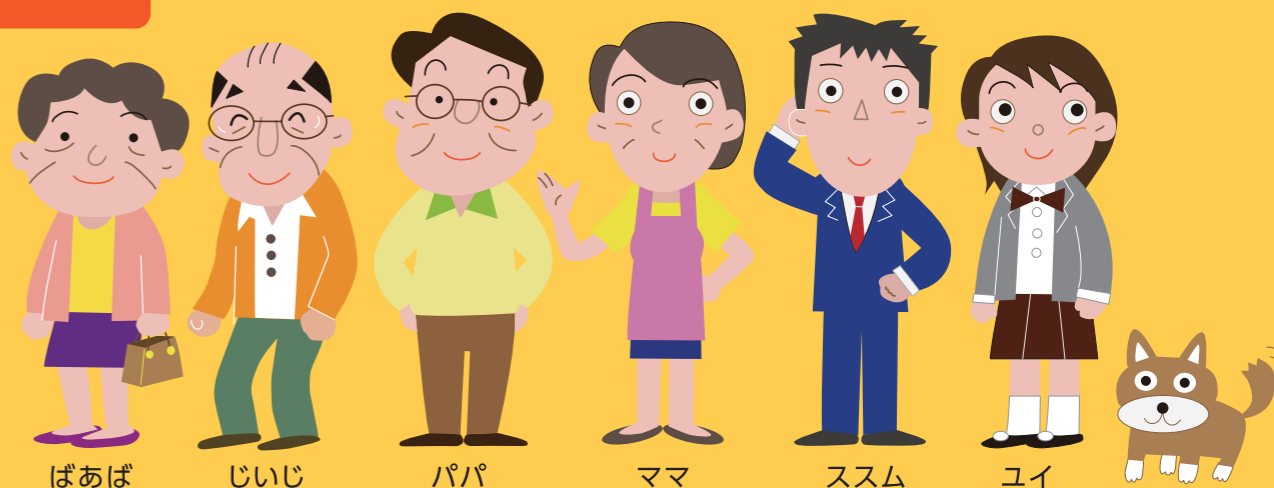


この「第8次豊田市総合計画 概要版」は、市民の皆さんがこれからの暮らしをデザインする際の参考としていただくためのパンフレットです。

わたし、家族、まちのみんなの未来を考えながら、
とよたファミリーと一緒にページを開いていきましょう。

目次

豊田市のこれから【序論】	P03
豊田市がめざす未来【基本構想】	P06
未来をつくる方法【前期実践計画】	P13
特に力を入れて取り組むこと【重点施策】	P15
着実に取り組むこと【基本施策】	P27



ばあば じいじ パパ ママ ススム ユイ

とよたは今、 どんな状況にあるの？



まず、これからの
社会の動きを予測してみよう！

世界の変化

グローバル化の進展

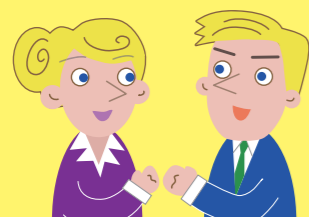
国際間での経済活動、人の移動、情報の流れがますます活発になります。世界各国では、人、もの、経済、情報を集約・集積させ、都市の競争力を高める動きが進んでいます。

技術革新の進展

製造・医療・福祉等あらゆる分野への活用が予測されるロボット技術や人工知能、ICT（情報通信技術）などの技術革新が進み、生活が変わる可能性があります。

食料・水・エネルギーの制約／ 地球環境問題

新興国などの人口増加・経済発展に伴い、世界の食料・水・エネルギー等の需要は今後も増大していくことが予測されます。食料自給率の向上、健全な水循環の維持、エネルギー供給源の分散化、省エネルギー化の推進等が課題となっています。



豊田市を取り巻く世界と日本の動き

豊田市

日本の変化

急激な人口減少、 少子化・高齢化の進展

国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2040年の日本の総人口は約1億700万人まで減少すると見込まれています。65歳以上の高齢者の割合は2010年時点で23.0%でしたが、出生率の低下に伴う少子化の影響もあり、2040年には36.1%になる予測です。

価値観・ライフスタイルの変化

社会の成熟化に伴い、個人の価値観が多様化しています。経済重視の価値観だけでなく、自然や地域に根付いた生活によって「心の豊かさ」を求める生活重視の価値観などに基づく多様な生き方、働き方が生まれています。

巨大災害の切迫、 インフラの老朽化

30年以内に70%程度の確率で発生が予測される首都直下地震や南海トラフ地震は、甚大な被害をもたらすと想定されています。また、地球温暖化に伴う気候変動により、集中豪雨や大型台風の頻発化が懸念され、ハード・ソフト両面を適切に組み合わせた防災・減災対策への取組が求められています。



ぼくたちの住む豊田市は、
世界や日本の動きの中で
どう変わっていくのかな？

豊田市が抱える脅威

超高齢社会の進展

2025年、豊田市の75歳以上の人口は2010年と比べて2倍以上となり、2040年にかけても高齢者人口が増加し続けると予測されています。

産業構造の大転換

自動車産業では国内市場の縮小、生産拠点の海外進出などを受け、産業構造が大きく変化する可能性があります。また国の政策等による農林業への影響も危惧されます。

大規模自然災害のおそれ

南海トラフ地震、豪雨による河川氾濫や土砂災害など、突然発生する自然災害が、市民生活や企業活動に多大な影響を及ぼすおそれがあります。

厳しさを増す財政状況

法人市民税の一部国税化の拡大による税収減、公共建築物やインフラ施設の維持管理費や社会保障費の増大など、財政状況の悪化が懸念されます。

豊田市が持つ可能性

多様な担い手

先進的な地域自治システム^{*1}や共働^{*2}の取組などの基盤があり、自助、互助、共助により、多様な人がコミュニティの中で活躍できる社会の実現が期待されます。

国際都市への成長

拡充する道路・鉄道ネットワーク、高水準の文化・スポーツ施設、山村地域の歴史・文化など、多様な地域資源を生かした国際都市への成長が見込まれます。

強くてしなやかな産業

世界に誇るものづくりの技術やノウハウを生かした次世代の産業の創出のほか、食やエネルギーなどの地産地消により、強くてしなやかな産業が生まれることが期待されます。

多様なライフスタイル

都市部と山村部があるまちの特性によって、新たな働き方や暮らし方、余暇の過ごし方を生み出し、豊かなライフスタイルを実現することが期待されます。

*1 地域自治システム：都市内分権を推進し、地域住民の意見を市政に反映するとともに、地域の課題を地域住民自らが考え解決するための仕組み
*2 共働：市民と行政が協力・連携すること

こうした変化を理解して、
長期でまちづくりを考える必要があるんだよ。

変化に備えることと、
可能性を生かすことが重要なんだね！



とよたのこれからのまちづくりは？



豊田市がこれからめざしていくまちづくりの方向性を明らかにしたものが「**総合計画**」なんだ。2017年に新たにつくられたのが「**第8次豊田市総合計画**」だよ。

「第8次豊田市総合計画」とは？

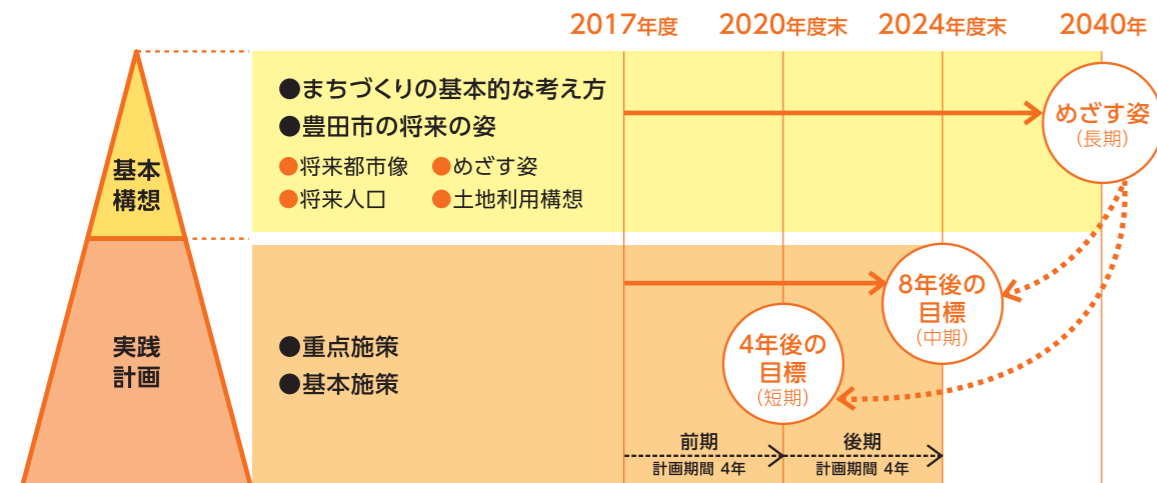
超高齢社会、産業構造や財政状況の変化など、社会経済情勢の大きな転換期を迎えた今の豊田市が、よりよい未来のためにめざす目標とそのためを進める取組をまとめたものです。

その一つひとつの取組を市民と行政の共働で進めていくことが、みんなの幸せにつながる大きなチカラになります。

この計画の「基本構想」は2040年をめざす姿として長期目標を設定しています。

そして、そのめざす姿を設定した2040年を起点に現在を振り返り、短期(4年)と中期(8年)の目標を立て、具体的な取組を示したものが「**実践計画**」です。

計画の構成・目標設定・計画期間



2040年…25年後くらいか。僕は絶対幸せに暮らしているはず!

自分が、そして家族が、将来どう暮らしていきたいか、このまちをどんなまちにしたいかを考えながら、第8次豊田市総合計画の内容を見ていこう!



まちづくりはみんなで進めていくものなんだ。そのために、めざす方向を共有するために示しているのが「**基本構想**」だよ。まずは、これからのまちづくりに大切な「**基本的な考え方**」を知ろう!

まちづくりの基本的な考え方

考え方

1

多様な「豊かさ」を生み出す社会へ、**発想を転換!**

「成長」の時代から「成熟」の時代へと変わる今、一人ひとりの幸せをいかに育むかが大切です。「モノを所有する豊かさ」だけでなく、自分たちの暮らしや働き方を「創造する豊かさ」、人や社会とのつながりの中で「共有する豊かさ」をこれからのまちづくりにおいて重視します。

視点



- 「個の充足・完結」から「つながり・関係性の拡がり・深まり」重視へ
人と人、人と地域などのつながりの拡大や関係性の強化をめざします。
- 「ないものを補う」から「あるものを生かす」発想へ
既にある施設、仕組みを転用することや、再編して活用することを考えます。
- 「足し算(積み重ね)」に「かけ算(組み合わせ)」思考を
様々な取組や主体を組み合わせ、新たな価値を生み出すことをめざします。
- 「行政がリードするまちづくり」から「多様な主体が楽しむまちづくり」へ
多様な主体が参加し、楽しみながら活躍できる環境づくりを進めます。

考え方

2

中部エリアを**けん引する!**

中部エリアは、日本の活力を支える地域であり、リニア中央新幹線の開業も控えています。その中で豊田市は、世界に誇るものづくり産業の中核都市であり続けるとともに、多様なライフスタイルが実現できるまちをめざします。

- 【役割1】 世界に誇るものづくり産業の中核都市として、その飛躍を推進する
- 【役割2】 全国から名古屋圏の飛躍を担う人材を集め、経済発展を支える
- 【役割3】 多様な資源やライフスタイルの選択肢を生かし、人生の質(QOL)を求める人の受皿となる

今あるものを生かして、楽しめるまちをみんなでつくっていくのね!



2040年にめざす豊田市の姿が「将来都市像」ね!



つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた

わたしたち豊田市民は、先人のたゆまぬ努力により培われてきた豊かな自然や歴史・文化、ものづくりなど多様な地域の資源を愛着や誇りを持って、守り、更に大きく育て、次代を担う子どもたちへつないでいきます。そうすることで、安心と輝きに包まれた豊かな豊田市の未来をつくりだしていくことが大切であると考えます。

このような考えの下、人と人、人と地域、自然とのつながりを深め、認め合い、生かしながら、多様な価値や可能性をつくりだし、暮らしを楽しむことができるまちをめざします。

こうした豊田市の未来の可能性を気づきや学びを通して実感し、一人ひとりが主役となって実現していく都市像として設定しました。



めざす姿



将来都市像の「つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた」に向けて、みんなでめざす姿を設定しているよ。「市民」「地域」「都市」の視点で見よう!

市民 社会とのつながりの中で安心して自分らしく暮らす市民

多様なつながりの中で、互いを認め、学び合いながら、一人ひとりが個性や能力を発揮し、支え合う力が生かされる社会の実現をめざします。

- 一人ひとりが個性や能力を生かし、自分らしく暮らしています。
- 子どもたちが社会の中で自らの可能性を伸ばし、「たくましく生き抜く力」を育んでいます。
- 地域に愛着と誇りを持ち、健康で生き生きと活躍しています。
- 多世代のつながりやセーフティネットがあり、楽しく自立して暮らしています。



地域 魅力あふれる多様で個性豊かな地域

地域特性を生かした地域づくりが主体的に取り組み、多様なライフスタイルを可能にする個性豊かな地域社会の実現をめざします。

- 地域のつながりや支え合いにより、安全・安心に暮らす環境が整っています。
- 自然や歴史・文化などが受け継がれ、豊かな個性があります。
- 地域資源を生かした仕事を生み出し、地域内で経済が循環しています。
- 都市部と山村部が活発に交流し、多彩なライフスタイルを実現しています。



都市 未来を先取る活力ある都市

自動車産業で培ってきたものづくりや多様な地域資源を最大限に生かして、新たな価値を創造し、世界に向けて発信する都市の実現をめざします。

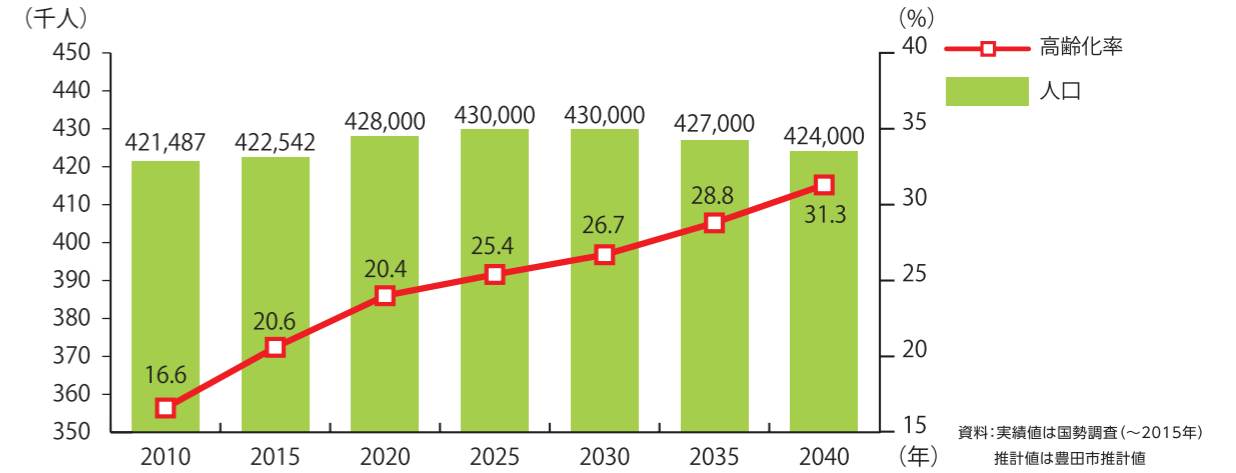
- 次世代モビリティなど、社会課題の解決につながる研究開発が盛んに行われています。
- 豊かな自然と調和し、人と環境にやさしいまちづくりが進んでいます。
- 多文化が共生し、世界の多様な人に開かれています。
- 近隣の自治体と連携し、日本経済をけん引しています。



将来人口

42万人

将来人口推計グラフ



～計画の実現に向けて～ 「学び合い」と「WE LOVE とよた」

めざす姿の実現に向けて、誰もが楽しみながら、様々な活動やまちづくりに参加するなど、具体的な行動が重要です。

その出発点が「学び合い」の視点。社会と関わり、お互いを認め合い、それぞれの知識や経験などを生かして、周りに還元していくことが重要です。

そして、まちを「楽しむ」をキーワードに取り組む「WE LOVE とよた」の取組を進める、「魅力を知る」「暮らしに取り入れる」「発信する」「高める」「理解と共感の輪を広げる」ことが支えとなります。

本計画では、こうした視点や取組を施策の中で重視し、市民の皆様とともに進めていきます。



いろんな人や地域と関わって、このまちをもっと楽しみたいな!



いくつになっても活躍の場はありそうだな!

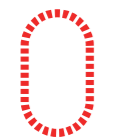
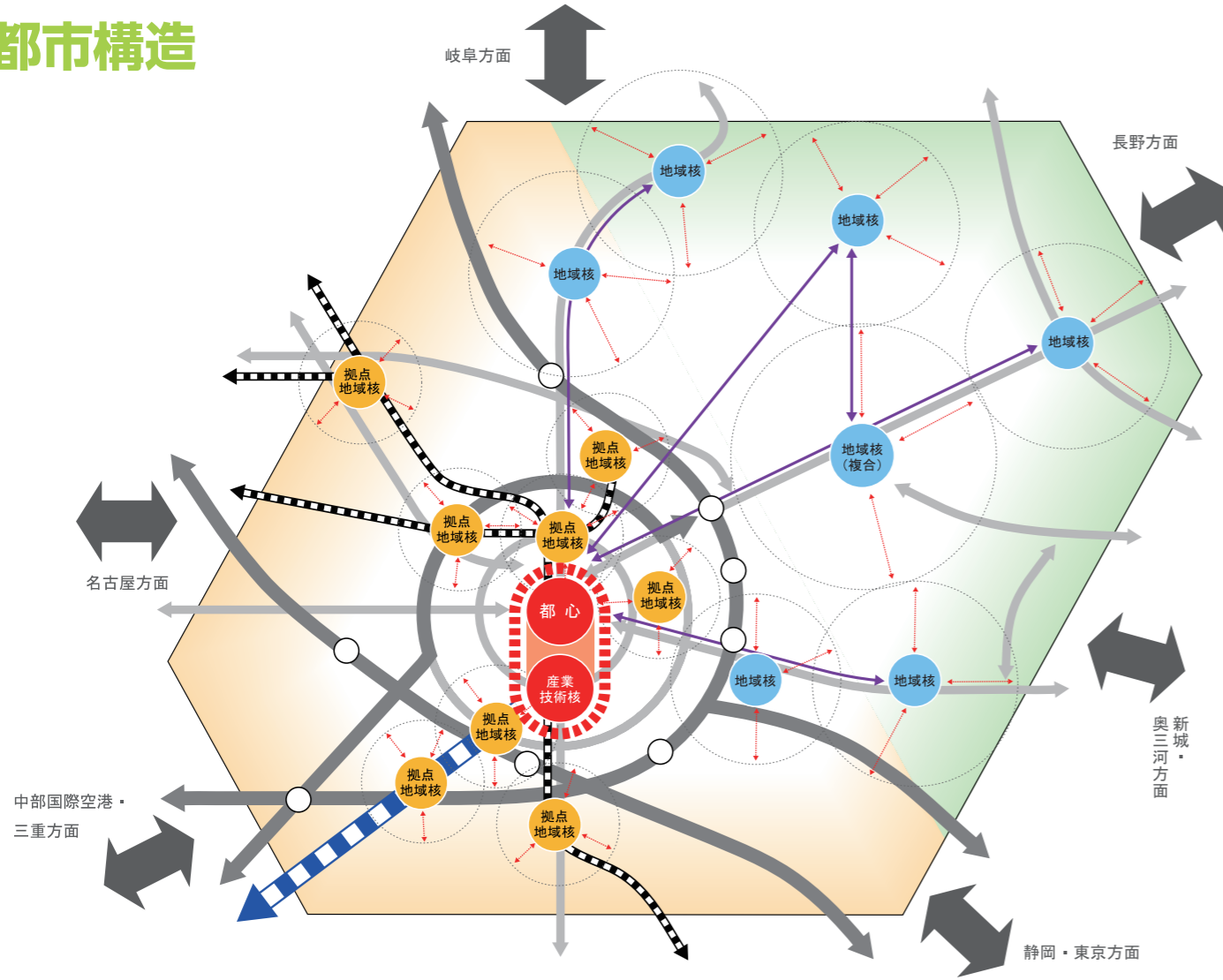
土地利用構想

産業技術の中核拠点にふさわしい「都市的土地利用」と、市域の約70%を占める森林等の「自然的土地利用」との調和を大切にします。その上で、広大な市域の効率的な都市経営と地域資源を次世代につなぐため、「核」と「ネットワーク」を強化し、多核ネットワーク型都市をめざします。

土地の使い方も、計画的に考えて、まちづくりを進める必要があるんだ。



都市構造



多核ネットワーク型都市構造の中心となる「都心」と、世界をリードする産業技術の中核となる「産業技術核」の、二つの核の連携により、魅力を発信し続ける都市空間の形成を図ります。



都市構造軸である鉄道の機能強化を図り、駅周辺や沿線への都市機能や居住の誘導を図ります。



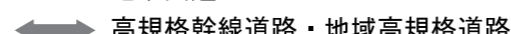
鉄道等



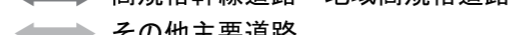
基幹バス



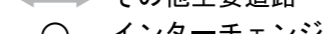
地域交通



高規格幹線道路・地域高規格道路



その他主要道路



インターチェンジ

(スマートインターチェンジ含む)

■核の方針

地域の特性に応じた都市機能や生活機能等を集積・集約する都市拠点を、多核ネットワーク型都市構造の「核」に設定します。

■ネットワークの方針

核と核の相互連携を図るために、公共交通や道路による「ネットワーク」を形成します。

土地利用基本構想



<核>

- 都心
- 産業技術核
- 拠点地域核
- 地域核 (複合含む)

<ゾーン>

- 市街地ゾーン
- 都市・田園共生ゾーン
- 都市近郊自然共生ゾーン
- 森林環境共生ゾーン

<地区>

- 市街地高度化地区
- 商業・業務高度化地区
- 産業技術高度化地区
- 居住促進地区
- 森林保全・育成地区

<拠点>

- 都市機能連携拠点
- 産業誘導拠点
- 居住誘導拠点
- 交流促進拠点

<その他>

- 鉄道等
- 高規格幹線道路 地域高規格道路
- インターチェンジ (スマートインターチェンジ含む)
- その他主要道路(国道)
- その他主要道路(県・市道)
- 主な河川
- 緑の外環(保全区域) (緑を保全・活用又は創出することを配慮する区域のこと)

■ゾーンの方針

市域において土地利用に応じた区域を、都市基盤の整備状況及び施設の立地状況を踏まえ、適切な土地利用の誘導を図るため、4つの「ゾーン」に設定します。

■地区の方針

ゾーンの方針を踏まえ、都市機能の集約状況等からきめ細やかな土地利用の誘導を図るため、5つの「地区」を設定します。

■拠点の方針

ゾーンや地区の方針を踏まえ、都市機能の集約状況等から重点的に都市機能の誘導を図るため、4つの「拠点」を設定します。

どうやって未来をつくっていく？

前期実践計画の「重点施策」と「基本施策」をみんなが進めて、わたしたちがめざす豊田市の姿に近づけていきましょう。

基本構想の「将来都市像」と「めざす姿」の実現に向けて、2017年度からの4年間で何に取り組むかを具体的に示しているのが「**前期実践計画**」だよ。4年間の取組を見よう。



基本構想 (目標: 2040年)

将来都市像

めざす姿

つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた

市民

社会とのつながりの中で安心して自分らしく暮らす市民

都市

未来を先取る活力ある都市

地域

魅力あふれる多様で個性豊かな地域

前期実践計画 (2017年度～2020年度)

重点施策

特に力を入れて取り組むこと

基本施策

着実に取り組むこと

(1) 超高齢社会への適応

安心して自分らしく暮らすことができる多世代共生のまちの実現

(2) 産業の強靱化

暮らしと活力を支える強固な経済基盤のあるまちの実現

(3) 暮らしてよし・訪れてよしの魅力創出

定住・交流人口を引き付ける魅力あるまちの実現

- I **子ども・子育て**
安心して子育てができるまちの実現
- II **生涯学習**
生涯を通じて学び・育ち続けることができるまちの実現
- III **健康・福祉**
誰もが健やかに安心して暮らせるまちの実現
- IV **安全・安心**
市民の生命・財産が守られ、安全・安心に暮らせるまちの実現
- V **産業・観光・交流**
多様な資源が生かされ、未来に挑戦する活力のあるまちの実現
- VI **環境**
人と自然が共生する環境にやさしいまちの実現
- VII **都市整備**
生活と産業を支える快適で質の高いまちの実現
- VIII **地域経営**
市民力・地域力・企業力・行政力が発揮される自立した地域社会の実現

重点施策

1

超高齢社会への適応

～安心して自分らしく暮らすことができる多世代共生のまちの実現～

なぜ、とよたの未来に「多世代共生」が必要？

ユイ おじいちゃん、おばあちゃん、最近始めたウォーキングはどう？

ばあば とても気持ち良いわよ。やっぱり健康第一ね！ウォーキングがきっかけで、友達もできて、外出も増えたわ。

じいじ そういえば、最近、ウォーキング中にお隣さんを見ないな・・・

ママ 毎日、おばあさんの介護で大変みたい。時々、介護サービスも利用しているそうよ。

パパ 困ったときにサービスが受けられるのは安心だな。だけど、身近な人や地域のことは、「お互い様」の気持ちで支え合うことも必要だろうな。

ユイ どうして？

パパ 豊田市では、これから40年くらいは高齡化が進むんだ。10年後には、75歳以上の人口が今の約2倍に増えて、20年後には6人に1人は75歳以上になる見込みなんだよ。

ママ 年をとると、ゴミ出しとか身の回りのことも思うようにできなくなるから大変よねえ。

ばあば これから医療や介護が家にいても受けやすくなったり、技術も進歩して、まちも便利で住みやすくなると思うけど、やっぱり周りの人たちの支えは必要ね。

パパ 子育ても一緒だよ。父さんが子どものころは、地域の人とは顔見知りで、遊んでもらったりもしたけれど、今はそうでもないだろう？

ばあば そうねえ。今日見かけた子も、どこの家の子かさえもわからなかったわ。

ユイ これからもずっと、この地域みんなが安心して元気に暮らすために、身近な人や地域とつながりを持つことが大切なんだね。わたしにもできることがきっとあるよね！

じいじ そうだな！ わしも、趣味の木工細工を生かして、この地域のために活躍するぞ!!

ばあば 私は、子育てのお手伝いをして、地域みんなのばあばになりたいわ！

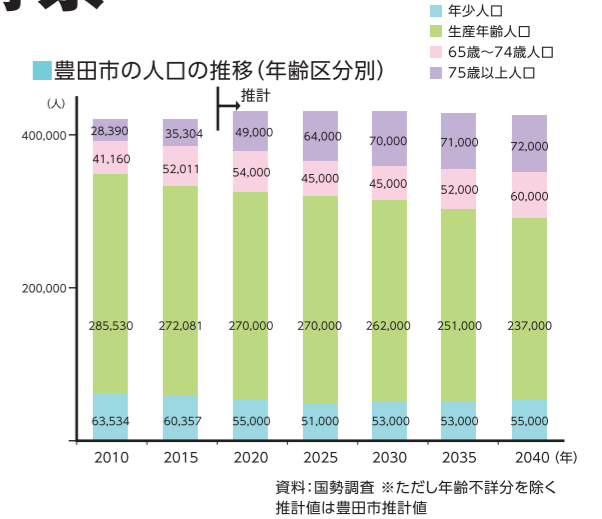


「多世代共生」が必要な背景

背景 1

人口構成の大きな変化

1980年代から少子化が進み始め、1990年代からは65歳以上の人口も大きく増加。2010年には0歳から14歳の人口よりも65歳以上の人口が上回るようになり、その差は年々拡大しています。今後、2025年頃には急速な後期高齢者数の増加、2055年頃までは65歳以上の高齢者の増加、高齢化率の上昇、生産年齢人口の減少など、人口構成の大きな変化が見込まれます。

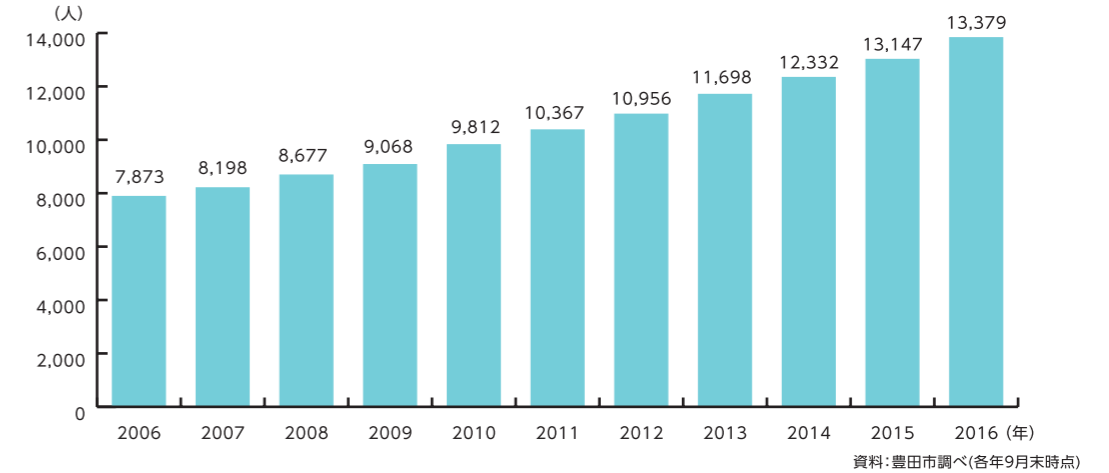


背景 2

家庭や地域が抱える課題の多様化・複雑化

人口構成・ライフスタイルの変化などに伴い、家庭や地域が抱える課題は多様化・複雑化しています。介護や育児、若者や子育て世代の生活困窮、ひきこもり、児童虐待などの支援を必要とする市民が増加しています。あわせて家庭では、育児と介護の同時負担(ダブルケア)を始め、複合的な課題も増加しています。これらの課題に適切に対応していくには、一人ひとりに寄り添った横断的・包括的な支援が求められます。

豊田市の要支援・要介護認定者数の推移

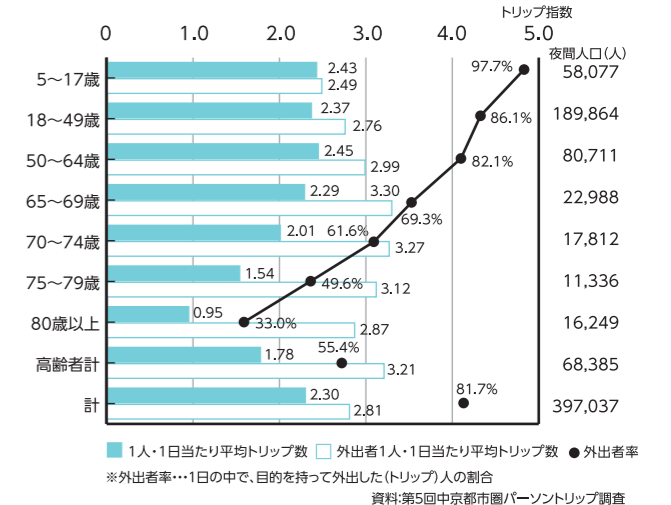


背景 3

超高齢社会に適した都市環境の必要性

本市では移動手段として自家用車を利用する市民が多く、高齢化に伴い買い物や通院などの日常生活に必要な活動が制約されるおそれがあります。また、外出率が年齢とともに低下するというデータもあります。誰もが安心して生き生きと暮らすため、様々な世代が関わり合い、支え合いながら生活できるよう都市機能・住環境や交通環境の充実が求められます。

豊田市の高齢者の外出率



重点施策 1 超高齢社会への適応

安心して自分らしく暮らすことができる多世代共生のまちの実現

2025年までにめざす姿

多世代が様々な交流、共生する地域の中で、年齢や身体の状態、家庭環境等にかかわらず、社会と関わりを持ちながら、誰もが安心して、健やかに、自分らしく暮らしている。

重点施策では、分野を横断した取組により2025年までに実現したいまちの状態を「めざす姿」としてそれぞれの施策で設定しているよ。「施策の柱」ごとに具体的な取組を進めることで実現していくんだ。



施策の柱

1 次代を創る健康で活力ある生涯活躍の仕組みの構築

まちぐるみの健康づくりの推進

- きらきらウエルネス地域推進事業
- 健康ウォーキング事業
- (仮称)松平市民広場整備事業

子どもから高齢者まで

多世代がまちづくりに参画する機会や場の充実

- 豊田市版コミュニティ・スクール推進事業
- 地域学校共働本部設置拡大事業
- 高齢者の活躍支援事業
- シルバー人材センター就業創出事業
- 藤岡地区地域核整備事業



施策の柱

3 多世代共生のまちを実現するための都市機能・住環境の形成

都市機能・住環境の形成

- 都市機能・居住誘導区域の形成
- 多世代同居・近居促進事業

交通環境の充実

- バス運行改善事業
 - バス停待合機能等整備事業
 - 基幹バス運行事業
 - 地域バス運行事業
- 先進移動技術等実証支援事業



施策の柱

2 安心な暮らしを支える地域包括支援の仕組みの構築

総合的な相談・支援体制の構築

- (仮称)相談窓口運営事業
- (仮称)成年後見支援センター運営事業
- とよた急病・子育てコール24(愛称:育救(いっきゅう)さんコール)運営事業
- 共生型サービス創出事業
- 食の自立支援事業
- 認知症等初期集中支援チーム事業

医療・介護環境の充実

- 在宅医療・介護連携推進事業
- 豊田地域医療センター再整備事業
- 介護施設整備支援事業
- 介護人材確保事業
- 介護ロボット等導入支援事業



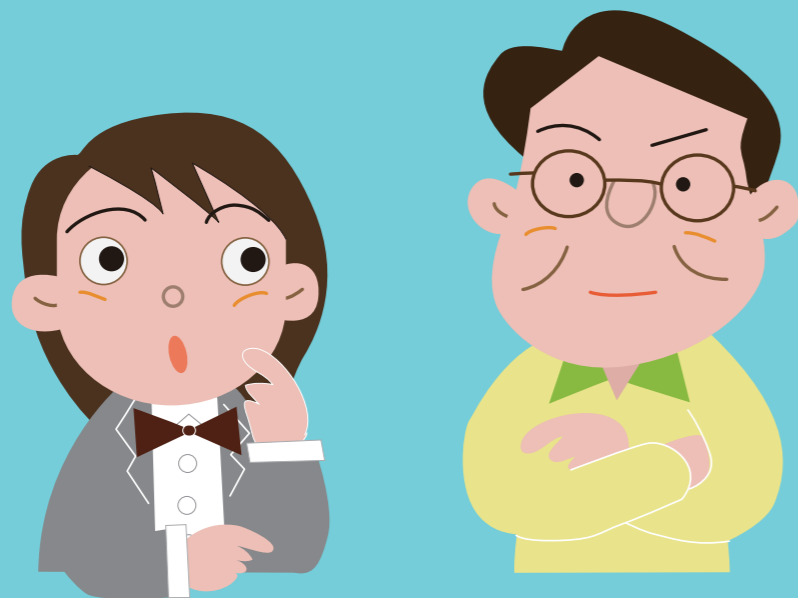
産業の強靱化

～暮らしと活力を支える強固な経済基盤のあるまちの実現～

なぜ、とよたの未来に「強くてしなやかな地域経済」が必要？

- パパ** どうした？
- ユイ** 進路希望調査票を書いているの。いろいろ興味はあるけれど、将来のことなんてまだ具体的に考えられなくて。
- パパ** ユイも、もう高3だもんな～。
ユイはどんなことがしたいのかな？
- ユイ** うーん・・・わかんない。できれば地元で働けたら良いかな。そうなるとやっぱりクルマ関係かなあ。
- パパ** 確かに、**豊田市にはクルマ関係の仕事はたくさんある**よね。
- ユイ** でも、クルマの仕事って女の子もたくさん働いているの？
- パパ** 自動車産業といっても、最近では、人工知能や情報通信、燃料電池とかに対応していかなければならないから、これから仕事の幅も広がるし、働き方も変わっていくと思うよ。
- ユイ** へえー！そうなんだあ。面白いかも。クルマ以外だと他にどんな仕事があるのかなあ？

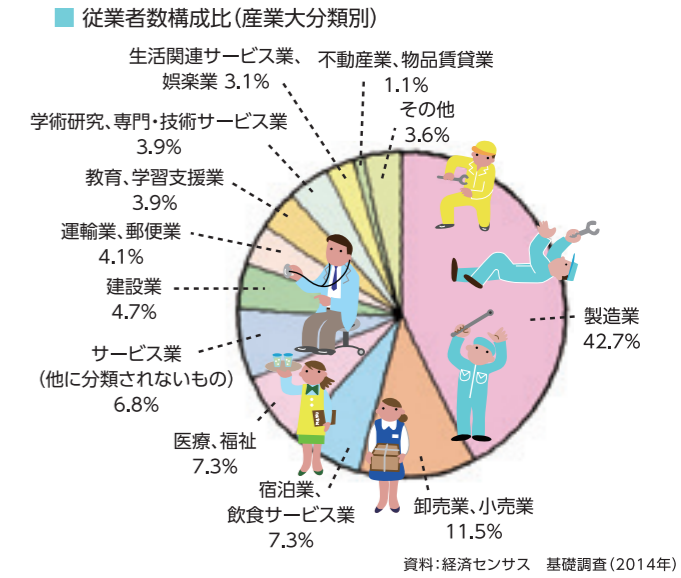
- パパ** 豊田市は、**農業でも県内トップクラス**だし、**森林資源も豊富**だから、農林業を生かしたビジネスもあるかもしれないね。**地域の魅力を生かした観光もこれから可能性**があるんじゃないかな。
- ユイ** クルマだけじゃないんだね。
- パパ** **もちろん自動車産業は中心**だけど、地域の資源が使われたり、**いろんな産業が元気だと、地域でお金がグルグル回って、経済活動が活発**になる。そうなれば、**かわいいお店やおいしい食べ物**とか増えるし、**いろんな働く機会も増える**ね。
- ユイ** このまちで働いて、自分も地域も元気になるなんて、ちょっと良いかも。いろんな道があってなんだかワクワクしてきた。ありがとう！考えてみるね。



背景

製造業に偏った産業構造

豊田市で働く人の42.7%は製造業で働いています。経済のグローバル化や先進技術の進歩などにより経済環境が大きく変化している今、特定の産業に大きく偏った産業構造は環境変化の影響を受けやすいといった特徴があります。将来にわたってこのまちに働く場や活力を生み出すためには、産業構造の変化に応じて、産業の多様化を進めていく必要があります。

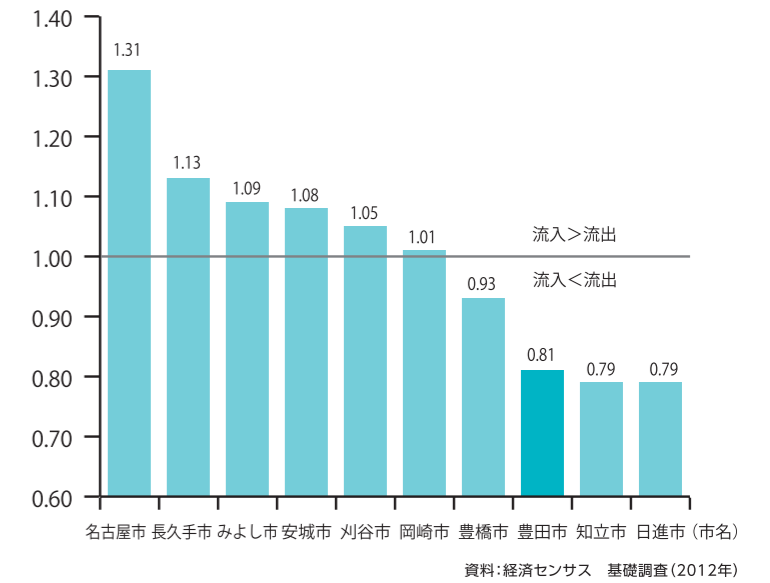


背景

市外へ流出している消費

豊田市の小売吸引力指数*1は0.81で、市内で得られた所得が地域に回らず、消費として市外へ流出しています。製造業などが稼いだ所得を市内に広く波及させ、地域産業の活性化や市民の所得の増加につなげるためには、地域の中で経済が循環するようにしていく必要があります。

豊田市と近隣自治体の小売吸引力指数



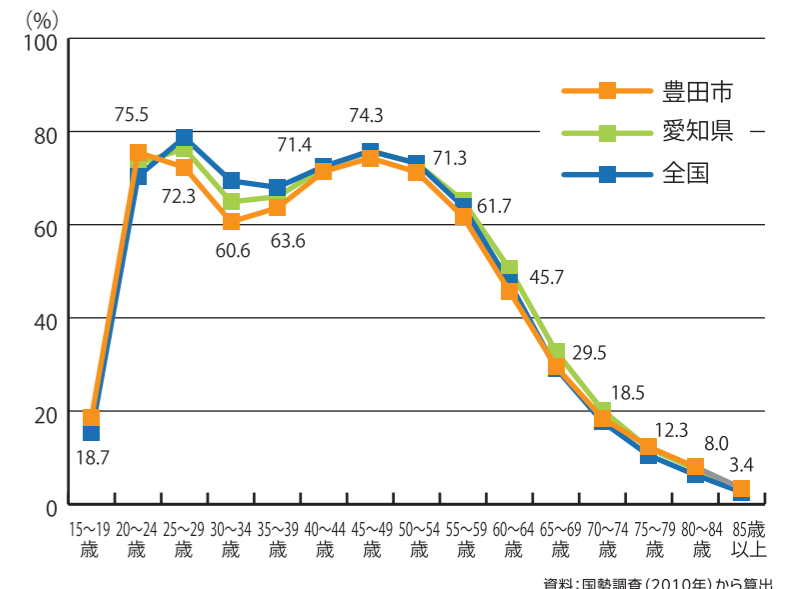
*1 小売吸引力指数：市の人口一人当たりの小売販売額を県の人口一人当たりの小売販売額で除したものを示す。

背景

女性の活躍推進機運の高まり

豊田市の30歳から34歳の女性の労働力率(働く能力と意思を持つ人の割合)は60.6%で、全国(69.4%)や愛知県(64.9%)と比べて働く女性の割合が少ない傾向にあります。中小企業を中心に人材確保が困難になる中、女性を始め、若者や高齢者、外国人など様々な人が、自分に合った形で働くことができる環境の整備が求められます。

女性の年齢別労働力率



重点施策 2 産業の強靱化

暮らしと活力を支える強固な 経済基盤のあるまちの実現

2025年までにめざす姿

次世代モビリティの世界的な拠点として、
活発な企業活動や先進的な取組が展開されているとともに、
地域資源を生かした産業が活性化して、
地域に活力と多様な働く機会や場を生み出している。

施策の柱

2 多様な地域資源を生かした 産業の振興

地元資本による地域資源を生かした 多様なビジネスの創出

- 観光マーケティング推進事業
- 農商工連携・6次産業化推進事業
- 中核製材工場誘致事業
- (仮称)ものづくり創造拠点整備・運営事業(再掲)
- オープンイノベーション推進事業(再掲)
- ものづくりスタートアップ支援事業(再掲)



施策の柱

1 次代の産業拠点としての機能の高度化

将来の企業活動を見据えた都市基盤・環境の整備

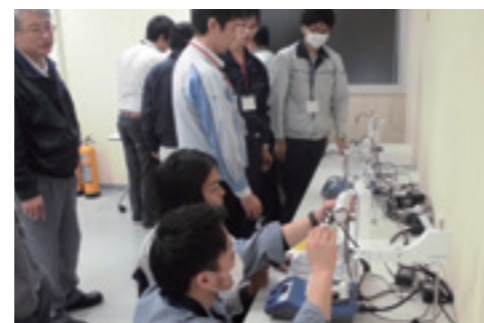
- 物流ネットワークの強化
高橋細谷線、豊田刈谷線、豊田南・北バイパス関連市道の整備

産業用地の創出と投資の誘導・促進

- 花本産業団地拡張事業
- 南部地域産業用地整備事業
- 企業立地奨励事業

先進的な取組と新たなビジネスの創出

- 環境先進技術実証支援事業
- (仮称)ものづくり創造拠点整備・運営事業
- オープンイノベーション推進事業
- ものづくりスタートアップ支援事業



施策の柱

3 働く機会の多様化と産業を支える 人材の確保

企業における多様な働き方導入の促進

- 働き方改革推進事業

女性や若者などの就労支援

- 就労支援事業
- 女性の「働く」推進事業



暮らしてよし・訪れてよしの魅力創出

～定住・交流人口を引き付ける魅力あるまちの実現～

なぜ、とよたの未来に「まちの魅力」が必要？

ススム 今日、友達からきれいな川と桜、紅葉が写ってる写真を見せてもらったんだ。

パパ 桜と紅葉か。豊田の山の方に行ったのかな？

ススム 父さん知ってるんだ！

パパ 父さんの会社では、空き家を紹介してもらって、豊田のいなかで暮らし、まちに働きに来ている人もいます。

ママ そういえば、母さんの友達は、いなかで稲刈りを手伝ってるって楽しそうに話していたわ。

パパ まちといなかの距離が近いから、都市と山村の交流が盛んになってきているんだよ。

ユイ 豊田市駅前の再開発も進んでいるし、新しいお店も増えて、まちなかが、これからもっと楽しくなるね。

ママ 豊田スタジアムや美術館、コンサートホールといったスポーツや文化施設も充実しているしね。

パパ 2019年にはラグビーワールドカップも開催されるから、これまで以上にたくさんの方が国内外から訪れるだろうな。

ママ せっかくだから、来てくれた人には、豊田のまちといなかを楽しんでほしいわね。

ススム そうだね！でも、僕は生まれ育ったまちなのに、豊田のことをあまり知らないなあ。

ママ ススムだけじゃないと思うよ。就職や結婚を機に、豊田から離れてしまう人もいるみたいね。若い人が出ていってしまうのはさみしいわ。

ユイ 豊田市にあるいろんな魅力に気づくと、もっと豊田市を好きになると思うな！

パパ そうだな、そして、その魅力を人に伝えていくことが大事だな。

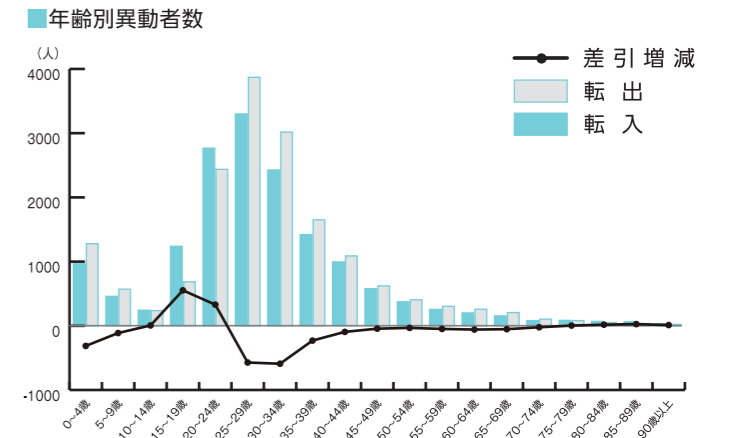
ママ このまちの良いところに気づいて、たくさんの方が出会い、暮らしを楽しめると良いわね。

背景

1

家族形成期世代の転出超過

市内の企業に就職するために、15歳から24歳の転入が転出を上回っています。一方で、家族形成期の世代が住宅や宅地を求めて、近隣他市町に転出する傾向が見られます。主な要因の一つとして、住宅の需要と供給のバランスが取れていないことが挙げられます。



資料：豊田市の人口(2014年版)

背景

2

世界へ魅力発信のチャンス

ラグビーワールドカップ2019™、東京オリンピック・パラリンピック(2020年)、リニア中央新幹線・品川-名古屋間開通(2027年)など、豊田市の魅力を国内外に広くアピールする機会が数多くあります。



背景

3

求められるまちの魅力を共有と発信

環境モデル都市としての取組やおいでん・さんそんセンターを始めとした都市と山村の交流、とよたまちさとミライ塾やあそべるとよたプロジェクトなど、市民が主体となるとよたの魅力発信の取組が広がりつつあります。一方で、自らのまちの魅力に気づいても、その魅力を国内外はもとより、市内においても十分に伝えられているとはいえません。



あそべるとよたプロジェクト



まちさとミライ塾

重点施策 3 暮らしてよし・訪れてよしの魅力創出

定住・交流人口を引き付ける 魅力あるまちの実現

2025年までにめざす姿

市民や地域が、都市部と山村部、
産業と自然を始めとした豊田市の多様な資源を生かし、
楽しむ活動や交流が活発に行われることで、
まちの魅力、人のつながりが創出されるとともに、
その魅力を通して、訪れる人が満足、感動している。

施策の柱

2 世界に発信する まちぐるみの観光・交流の取組の推進

ホスピタリティ向上によるまちの国際化の推進

- 外国人のおもてなし推進事業
- インバウンド推進事業

マーケティングに基づいた観光・交流の推進

- 観光マーケティング推進事業(再掲)

まちの玄関口の機能向上

- 豊田市駅前通り北地区市街地再開発事業
- 豊田市停車場線歩行者専用化試行取組事業
- 都心地区サイン施設再整備事業
- まちなか総合案内機能整備事業
- 鉄道ネットワークの強化
若林駅付近連続立体交差事業
- 道の駅どんぐりの里いなぶ整備事業



施策の柱

1 豊田ならではの暮らしの豊かさを生かした 定住の促進

都市部における住まいの供給

- 住宅・宅地の供給
土地区画整理事業、市街化調整区域内地区計画の活用
- 住まい相談総合支援事業
- スマートタウン整備支援事業



山村部における移住・定住の促進

- いなか暮らしコーディネート事業
- 空き家情報バンク事業

豊田市らしい暮らしの価値創造・発進

- 交流コーディネート事業
- 定住促進プロモーション事業



施策の柱

3 まちの魅力の共有と発信

多様な地域資源を生かした学びの推進

- ものづくり教育プログラム事業
- トップアスリート・スポーツチーム応援事業
- 博物館整備事業

市民が自ら暮らしを楽しむ活動の推進

- とよたまちさとミライ塾事業
- まちなか広場空間活用推進事業
- 市民によるアートプロジェクト推進事業

まちの魅力・価値の共有と発信

- 環境先進都市プロモーション事業





ここからは「基本施策」ね。「めざす姿」の実現に向けた
主要な取組を分野別に見てみましょう。

基本施策

Ⅰ 子ども・子育て

安心して子育てができるまちの実現



子育て

●施策名

- (1)安心して子どもを生み育てられる環境の充実
- (2)必要な幼児教育・保育を受けられる環境の整備



- 主な実践計画事業
- とよた急病・子育てコール24(愛称:育救(いっきゅう)さんコール)運営事業
 - おめでとう訪問事業
 - 高嶺こども園改築事業
 - 公立こども園の民間移管事業

基本施策

Ⅱ 生涯学習

生涯を通じて学び・
育ち続けることができるまちの実現



学び・育ち



●施策名

- (1)生き抜く力を育む学校教育の推進
- (2)安全・安心で快適に学べる教育環境の充実
- (3)地域による次世代人材の育成の促進
- (4)まちへの誇りや愛着につながるものづくり学習の推進
- (5)高齢者が活躍できる環境の充実
- (6)女性が活躍できる環境の充実

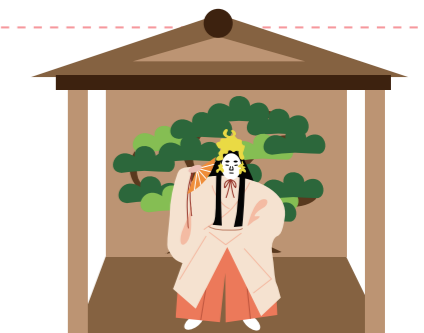
スポーツ



●施策名

- (1)スポーツ資源を生かした生涯スポーツの推進

歴史・文化



●施策名

- (1)歴史や文化財の継承と魅力の発信
- (2)文化芸術を生かしたまちの魅力づくりの推進

- 主な実践計画事業
- 豊田市版コミュニティ・スクール推進事業
 - きめ細かな教育推進事業
 - 高齢者の活躍支援事業
 - トップアスリート・スポーツチーム応援事業
 - 地域学校共働本部設置拡大事業
 - 放課後児童クラブ事業
 - 働き方改革推進事業
 - 博物館整備事業

基本施策

Ⅲ 健康・福祉

誰もが健やかに安心して暮らせるまちの実現



健康

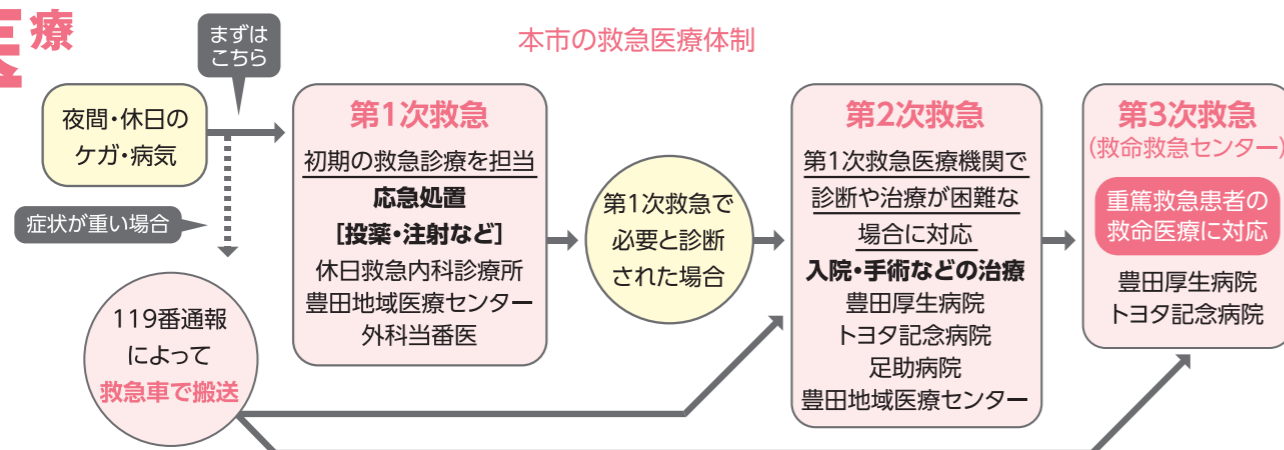


●施策名

- (1)誰もが健康づくりを継続できる環境の充実
- (2)健康危機への対応力の強化

医療

本市の救急医療体制



●施策名

- (1)必要なときに受診できる医療提供体制の確保

福祉



●施策名

- (1)高齢者が安心して生活できる支援体制の充実
- (2)障がい者が地域社会で共生できる環境の整備
- (3)生活困窮者が適切な支援を受けられる体制の確保

主な実践計画事業

- 健康ウォーキング事業
- 新1次救急診療所等整備事業
- 在宅医療・介護連携推進事業
- 障がい者日中活動場所確保事業
- きらきらウエルネス地域推進事業
- 豊田地域医療センター再整備事業
- 介護人材確保事業
- 子どもの学習支援事業

基本施策

Ⅳ 安全・安心

市民の生命・財産が守られ、安全・安心に暮らせるまちの実現



防災・減災



●施策名

- (1)自助・共助・公助による災害対策の充実
- (2)防災・減災につながる都市機能の強化

消防



●施策名

- (1)自助・共助・公助による消防対応力の強化

防犯



●施策名

- (1)地域ぐるみの防犯体制の強化

交通安全



●施策名

- (1)交通安全意識の向上と安全な道路交通環境の実現

主な実践計画事業

- 防災情報通信設備整備事業
- 高校生防火防災リーダー養成事業
- 防犯カメラ設置促進事業
- 橋りょう耐震対策事業
- 高齢者の住宅防火促進事業
- 交通事故多発地点対策事業

基本施策

V

産業・観光・交流

多様な資源が生かされ、
未来に挑戦する活力のあるまちの実現



農業



●施策名

- (1)地域特性に応じた産業型農業の推進
- (2)地域が支える“食と農”の推進

森林・林業



●施策名

- (1)100年先を見据えた安全・安心の森づくりの推進
- (2)地域材の利用促進による林業の振興

ものづくり産業



●施策名

- (1)将来に向けた産業集積の促進
- (2)ものづくり中小企業の新たな事業展開の促進

商業・サービス業



●施策名

- (1)中心市街地のにぎわいの創出
- (2)地域特性に応じた商業環境の整備

観光・交流



●施策名

- (1)多様な地域資源を生かした観光産業の振興
- (2)地域資源を生かしたまちづくりの推進
- (3)都市と山村が強みを生かし支え合う交流の促進

労働



●施策名

- (1)多様な働き方と働く場の創出

- 主な実践計画事業
- 農商工連携・6次産業化推進事業
 - 産業用地の整備(花本、南部地域)
 - 観光マーケティング推進事業
 - 交流コーディネート事業

- 中核製材工場誘致事業
- まちなか広場空間活用推進事業
- 道の駅どんぐりの里いなぶ整備事業
- 女性の「働く」推進事業

基本施策

VI

環境

人と自然が共生する
環境にやさしいまちの実現



低炭素社会



●施策名

- (1)低炭素社会を実現する環境モデル都市の推進

循環型社会



●施策名

- (1)廃棄物の減量化・資源化と適正処理の推進

自然共生社会



●施策名

- (1)暮らしを豊かにする生物多様性の保全

環境配慮行動



●施策名

- (1)持続可能な社会を支える環境配慮行動の促進

- 主な実践計画事業
- スマートハウス普及促進事業
 - 環境先進都市プロモーション事業
 - ふるさとの川づくり事業

- 環境先進技術実証支援事業
- 粗大ごみの再生施設「リユース工房」事業
- 環境学習事業(エコット、自然観察の森)

基本施策

Ⅶ 都市整備

生活と産業を支える
快適で質の高いまちの実現



市街地整備



●施策名

- (1)にぎわいのある魅力的な都心の形成
- (2)利便性の高い市街地の形成
- (3)多様なニーズに応える市街地定住の促進
- (4)山村地域等における生活環境の維持・確保
- (5)憩いとうるおいをもたらす緑の空間の創出

交通



●施策名

- (1)生活・産業を支える道路ネットワークの形成
- (2)利便性が高く持続可能な公共交通ネットワークの形成
- (3)人と環境にやさしく安全で快適な交通まちづくりの推進

上下水道



●施策名

- (1)安全・安心な水道水の安定供給の実現
- (2)汚水の適正な処理による快適な生活環境の実現

- 主な実践計画事業
- 豊田市駅前通り北地区市街地再開発事業
 - 都心地区サイン施設再整備事業
 - 土地区画整理事業(土橋ほか5地区)
 - 道路整備事業(高橋細谷線ほか)
 - 若林駅付近連続立体交差事業
 - 基幹・地域バス運行事業

基本施策

Ⅷ 地域経営

市民力・地域力・企業力・行政力が
発揮される自立した地域社会の実現



共働



●施策名

- (1)市民力・地域力・企業力を生かした共働のまちづくりの推進

国際化



●施策名

- (1)世界に開かれた国際まちづくりの推進

行政経営



●施策名

- (1)未来を見据えた持続可能な行財政運営
- (2)公共施設等の適切な管理の推進
- (3)将来を先取るミライ・チャレンジ都市の推進
- (4)共働による地域情報化の推進
- (5)戦略的な広域連携の推進

- 主な実践計画事業
- わくわく事業
 - 地域予算提案事業
 - 市民活動促進事業
 - 藤岡地区地域核整備事業
 - 外国人のおもてなし推進事業

つながる つくる 暮らし楽しむまち・とよた

第8次 豊田市総合計画

基本構想・前期実践計画 **概 要 版**

2017年3月 発行

発行／豊田市

編集／豊田市 企画政策部 企画課

UD ユニバーサルデザイン(UD)の
FONT 考えに基づいた見やすいデザインの
by MORISAWA 文字を採用しています。

●この冊子は再生紙を使用しています

